

# 補 足 資 料

令和3年11月10日  
県立佐原病院

患者情報 70歳代 女性 体重58.7kg

フェンタニル【0.5mg/10ml】を 2.0ml/h (0.1mg) で開始

## 1. 投与量について

(0.05mg = 1ml)

	施行時間	施行時間計	1日当たりの投与量	
投与1日目	13時～24時	11時間	1.1mg	22ml
投与2日目	0時～24時	24時間	<b>2.4mg</b>	48ml
投与3日目	0時～6.5時	6.5時間	0.65mg	13ml

※開始時から死亡に至るまで流量変更はない。

日本麻酔科学会—麻酔薬及び麻酔関連薬使用ガイドラインより抜粋
持続静注の維持量は、 <u>0.1～3.9mg/day</u> と個人差が大きい

※ 一日量は、**範囲内の2.4mg/day**であった。

## 2. 投与速度について

添付文書 フェンタニル注射液0.1mg・0.25mg[第一三共]より抜粋
激しい疼痛(術後疼痛、癌性疼痛など)に対する鎮痛 通常、成人には下記用量を用いる。 なお、患者の年齢、症状に応じて適宜増減する。
【静脈内投与の場合】 術後疼痛に用いる場合は、フェンタニル注射液として0.02～0.04ml/kg を緩徐に静注後、フェンタニル注射液として <u>0.02～0.04ml/kg/h</u> の速さで 点滴静注する。

※ 体重58.7kgのため、点滴静注は、1.17～2.34ml/h  
の速さとなる。  
2.0ml/hは、**範囲内**であった。